

① 主題名「戦争を通した命の捉え方」 3-(1) 生命尊重

② 資料名 ※子どもそれぞれが自由に用意

③ 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

人が人として「よりよく生きていく」ために、命に対する畏敬の念を生活に生かしていくことは道徳教育の一つの目標である。それは、人の存在や命そのものの意味を深く問うときに求められる基本的精神であり、命のかけがえのなさに気づき、命あるものを慈しみ、恐れ、敬い、尊ぶことを意味する。道徳性の発達が、「よりよく生きる」という個人の時間軸と「かかわりを豊かにする」という人間関係の広がり空間軸で説明されるならば、様々な人々と支え合いのなかで命が生まれ、受け継がれていることを考えることを通して、命のかけがえのなさを自覚できるようにすることは大切である。

(2) 子どもの実態 ※9ページ参照

④ 本時のねらい

「命」「家族」「戦争」「かかわり(絆)」に関連した資料や子ども自身の考えをもとに話し合うことを通して、命の尊さを感じ、大切にしていこうとする心情を育てる。

⑤ 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1 前時を振り返る。 ○「命」「家族」「戦争」「かかわり」をテーマに話し合っ ていきましょう。	・キーワードとしてあげた「命」「家族」「戦争」「かかわり(絆)」を提示し、それをもとに話し合いを焦点化させる。 ・学びの主体が子ども自身であることを意識させていくために、子どもが司会(鹿島・加藤)を務め、できる限り司会が中心となって話し合いを進めていく。しかし、子どものねらいに迫る発言では教師が切返しの発問を試みることも考えられる。
展 開	2 子どもの用意した資料・意見をもとに話し合う。	・ねらいに迫るために、9ページの【『命』『家族』『戦争』について考える】の子ども事前の考え・思い(記述)をもとに、個に応じた切返しの発問を活用していきたい。

終 末	3 学習の感想と共に次時の道徳の時間について考える。 ○今日の学習を振り返って考えたこと・思ったことは何ですか？ ○今日を踏まえて、次の道徳の時間ではどんなテーマで考えていきたいですか？	・道徳ノートに学習の感想を書いて考えを整理しやすくする。 ・学習のまとめを活かして、次時の道徳の時間でどんな話し合いにつなげていきたいか考える。
--------	--	---

⑥ 本時の評価

- ・「命」「家族」「戦争」「かかわり（絆）」をもとに命の尊さ、大切さについて考えることができる。
- ・本時の学びを活かして、次時の道徳の時間で学びたい価値について考えることができる。